

平成27年産稲わらの放射性物質調査結果について

平成27年10月26日
宮城県農林水産部畜産課

平成27年産稲わらの放射性物質の調査結果について、下記のとおりお知らせします。

記

1 今年産稲わらについて

大河原・栗原地域における今年産の稲わらについては、調査により安全性が確認されるまで、給与等利用の自粛を要請しておりましたが、大河原・栗原地域における調査が終了し、稲わらの放射性物質が暫定許容値を下回っていることが確認されたので、当該地域の今年産稲わらの給与及び敷料、土壤改良資材としての利用が可能となりました。

なお、今回の調査結果は、平成27年に収集する稲わらについての自粛要請の解除であり、平成28年の春に収集する稲わらの取扱いについては、改めて通知します。

**今年産稲わらの給与及び敷料、土壤改良資材としての利用の
自粛要請解除地域
大河原・栗原地域**

※仙台・大崎・登米・石巻地域においては、今年産稲わらの流通・利用の自粛をしていません。

※大河原・栗原地域においては、玄米の放射性物質検査も全地点で食品の基準値を下回っていることが確認されています。

2 測定結果

別紙のとおり

平成27年産稲わらの放射性物質測定結果

全ての測定結果で、牛用飼料の暫定許容値100ベクレル/kg(水分含量80%換算)を下回りました。

(単位:ベクレル/kg)

測定日	地域	採取場所	放射性セシウム 測定値※1	備考
10/15	大河原	白石市	不検出	
10/16		角田市	不検出	
10/14		柴田町	不検出	
10/16		川崎町	不検出	
10/14		丸森町	10Bq/kg	Cs-137のみ検出
9/30	栗原	栗原市	不検出	
10/1			不検出	
10/1			不検出	
10/1			不検出	
10/6			不検出	

※1 粗飼料の放射性セシウムの暫定許容値は100ベクレル/kg(水分含量80%換算)なので、測定値も水分含量80%へ補正した値である。

※2 「不検出」と表記されているものは、50ベクレル/kg(水分含量80%換算)以下である。ただし、測定サンプルや測定条件により検出限界は上下することから、50ベクレル/kg(水分含量80%換算)以下でも測定値が表記される場合がある。